

信州栄村 秋山郷切明ボルダー 改訂版 Ver.2.00

令和元年9月1日 RCT/K

昨年の夏、信州の実家から秋山郷の切明温泉近くのボルダーに行ってきたので紹介したが、今年も避暑を兼ねて訪れてみた。

秋山郷は新潟県津南町から長野県栄村にまたがる、豪雪地帯として知られた自然豊かな地域である。

新潟県の津南から秋山郷に入っていくと、深い峡谷を挟んで、幾つもの集落がある。大赤沢地区の先の小赤沢からは長野県となり、最奥に魚野川と雑魚川が合流し中津川となるところに、河原の露天掘りで名の知れた切明温泉がある。

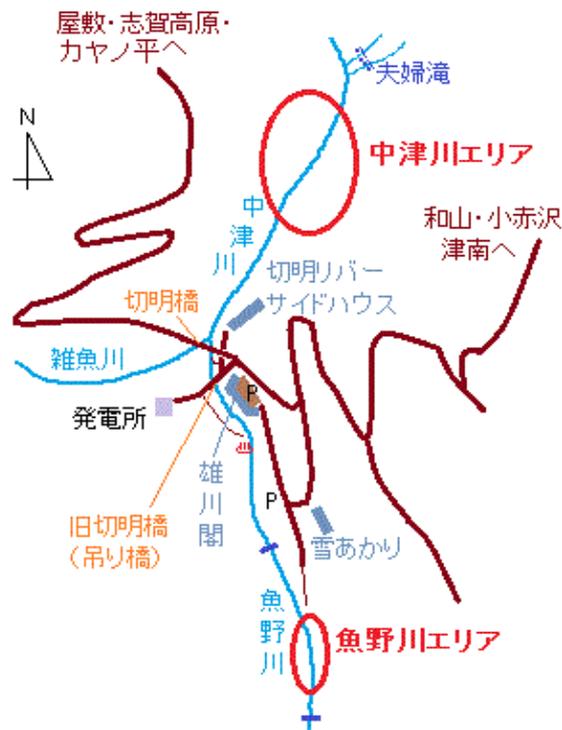
秋山郷は平家の落人の谷とも呼ばれており、鈴木牧之の「北越雪譜」や「秋山記行」でよく知られている。昔は冬季には雪に閉じ込められ孤立した中で厳しい生活を強いられてきたが、その反面、その生活の中から独特の文化がはぐくまれた土地でもある。現在は冬でも交通の便は確保されてはいるが、それでも雪との闘いは厳しいものがある。ボルダリングやクライミングついでにこの地域の文化に触れるのも、一つの楽しみである。

秋山郷全域は「苗場山麓ジオパーク」の一部となっており、岩場といえば、布岩の柱状節理の長いクラック群や鳥甲山のルンゼ群が知られているが、ボルダーに関しては記録もなければ何らかの情報も全くないのが現状である。

岩質は安山岩または石英閃緑岩等で、硬くしっかりしているが、一部火山角礫岩のようなところや脆い枕状溶岩のようなところもある。エリアは大きく2つに分けられ、下流の中津川エリアは多くのボルダーがまとまっており、ハイボールも幾つかある。上流の魚野川エリアは、ボルダー数が少なく、ほとんどが小さなものであり、時間のない時や中津川エリアが登れないときに利用するのが良い。

シーズンは、世界的な豪雪地帯のため、春から秋となる。春は雪解け水で増水があり、登るとすれば連休ごろからが良く、秋は日本海側のため冬型になると時雨になりやすく、11月に入ると天候が不安定になり、雪が降ることもあるのでシーズンは長いとは言えない。しかし、梅雨時は降雨が少なく梅雨末期ごろまで登れるので、そういう意味では穴場といえるかもしれない。

アクセスは車利用で志賀高原やカヤノ平方面からも入れるが、林道を走る気疲れやアクシデントを考慮すると、やはり津南方面から入ったほうが無難である。ちなみに私は、5月末の林道開通後は実家から1時間近く時間短縮ができるので、カヤノ平越えをしている。駐車については、中津川エリアは「湯元雄川閣」の駐車場を利用させてもらう。また、魚野川エリアは一軒宿の「雪あかり」手前の河原に向かう道路の車止め脇にあるスペースを利用させてもらう。

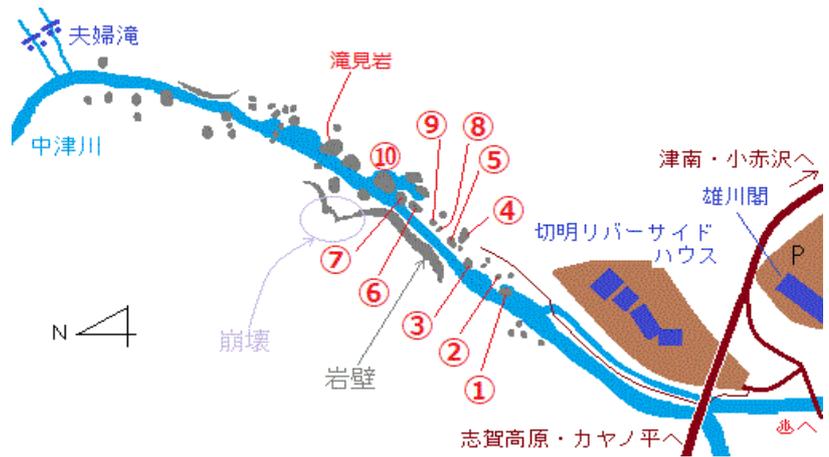


《中津川エリア》

切明橋から下流方面にボルダー群が見えるが、ボルダーへのアプローチは、川原の温泉へと続く旧切明橋の手前を「切明リバーサイドハウス」側に下ると左に河原への降り口がある。河原に降りたら下流方向にボルダー群が見えるので、中州から右岸側をそのまま進めばボルダーに難なく着ける。途中浅瀬の渡渉があるので、サンダルを持参すると良い。

左岸ボルダーは、未だ手つかずで、対岸の崩壊した岩が川を埋めた個所は飛び石伝いに行けるが、その周辺は脆い岩が多くあまり対象となりそうなものはない。下流方面には幾つか楽しめそうなボルダーがあるが、もし行く場合は水の流れには十分注意する必要がある。

なお、ここは魚野川上流のダムから放水することがあり、また上流部でゲリラ豪雨なども考えられるので、川の水位の上昇には十分気を配り、急激に増えるようなら早めに撤退をした方が良い。



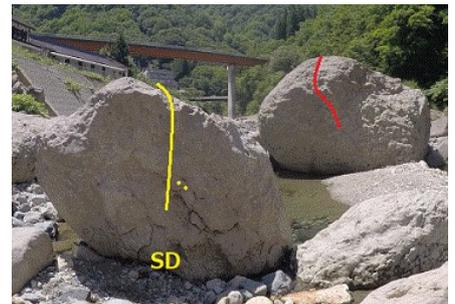
●①繭岩（右岸側から見ると、繭のように見える）

非常に脆い岩で、ホールドが何度も欠け、登りきるまで緊張感一杯。お勧めしない。

●②無名岩（①の下流の小さな岩）

易しい課題が1本。

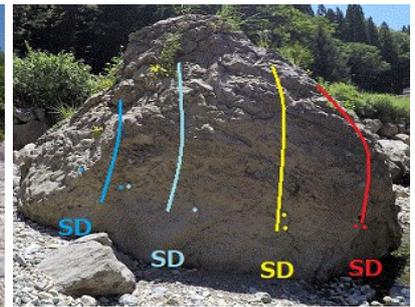
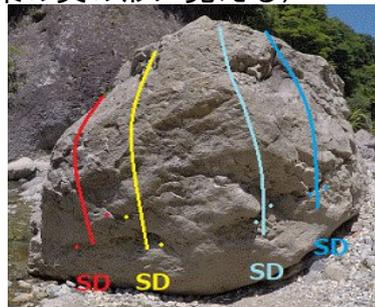
無名岩（左手前） & 繭岩（右奥）



●③栗の実岩（上流側から見ると栗の実の形に見える）

トポ左：上流側 右：下流側

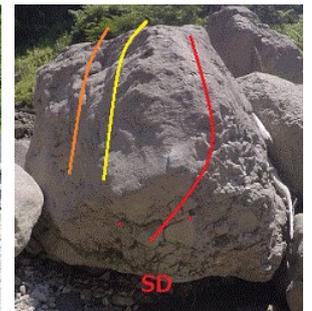
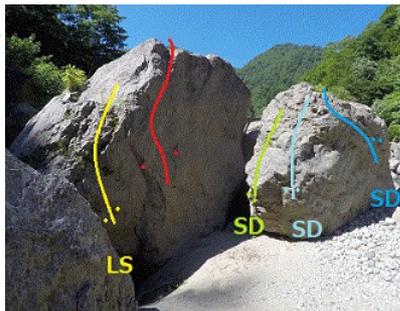
上流側の黄色ラインの課題名は「桃栗三年」。水色ラインは「柿八年」。



●④牧之岩（秋山郷を紹介した鈴木牧之から命名）

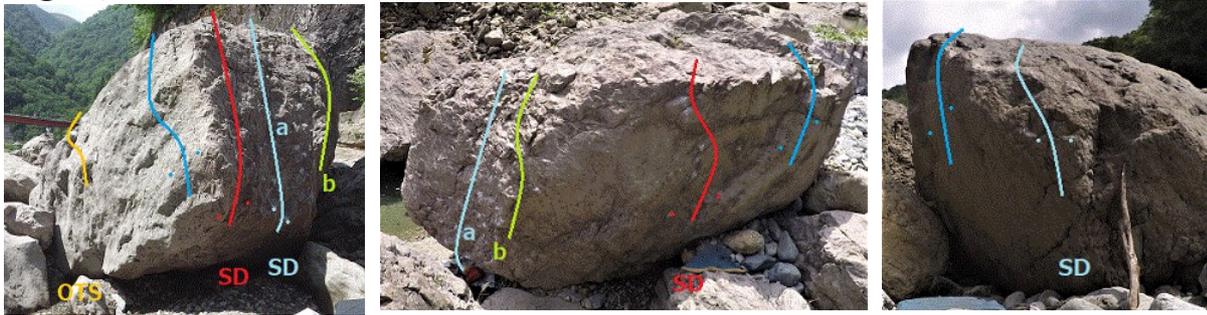
トポ左：牧之岩（左側） & 柿の実岩（右側） 右：柿の実岩川側

赤ライン（課題名：北越雪譜）が限定気味（カンテ左に出ない）だが楽しめる黄色ライン（課題名：鳥踊り）は出だしのハングが核心。両課題とも下地が砂で安定している。



- ⑤枳の実岩（④の川側にある岩）
赤ラインの課題名は「枳餅大福」

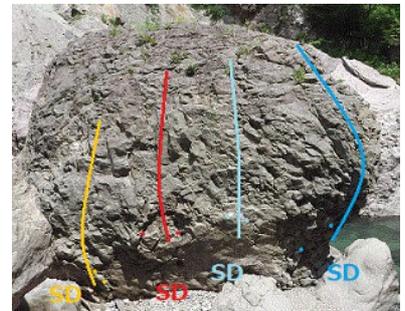
- ⑥大秋山岩



トポ左：山側 中央：川側下流側 右：川側上流側

ホールドがしっかりしており、下地も良く、お薦めのボルダー。周囲にいろいろと課題があり楽しめる。山側の赤の課題名は「大飢饉」、青の課題名は「ノヨサ節」川側下流側の赤ラインの課題名は「夏の騎士」。

- ⑦おはぎ岩（⑥の下流の脆そうな岩）
易しいが脆い部分が多いので注意が必要。



- ⑧ハング岩

トポ左：ハング岩 右：無名岩
ハング岩は左下からSDスタートでハングのトップを越える。



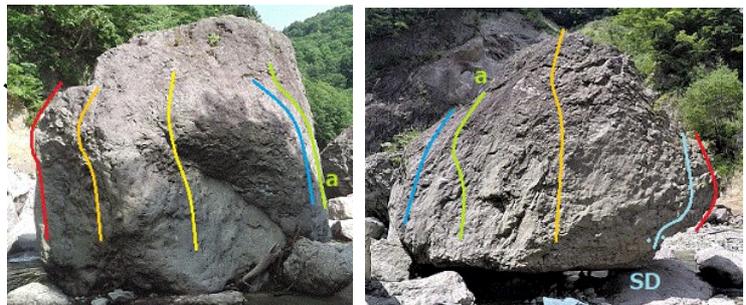
- ⑨無名岩

下流側のハングに課題が1本のみ。
フェイスのSD課題は未解決。

- ⑩プールロック

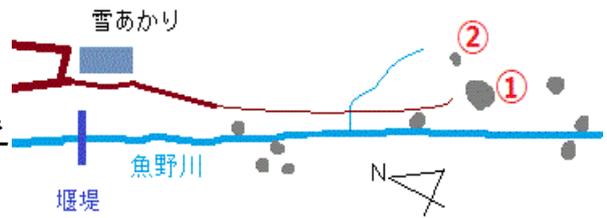
トポ左：上流側 右：山側&下流側
昨年度は山側が砂利の河原だったが、今年水に挟まれプール状になっていた。

5から8m程度のハイボール。易しいが脆い部分もあり、ハイボールなので緊張する。トップからの眺めはなかなか良いが、絶対に落ちられない。下降用として青ラインを使うので、最初に登っておくと良い。上流側の赤ラインの課題名は「勇気の印」、山側のオレンジラインは「スーパーセル」、下流側の水色ラインは「見かけだおし」。



《魚野川エリア》

アプローチは地図の通りであるが、「雪あかり」から、進入禁止の道路を真っすぐに上流部に歩いて河原にでると、上流にボルダーが見える。対岸(左岸)にも面白そうなボルダーが見えるが手つかずである。



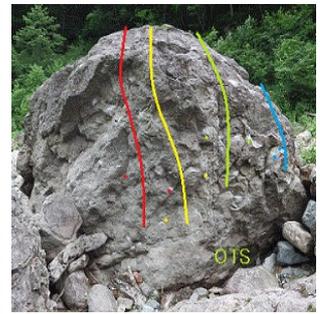
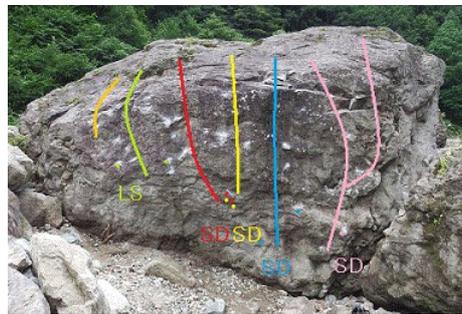
なお、上流にあるダムから放水がある時はサイレンが鳴るので、それを聞いたら撤退準備をし、水嵩が増して来たら撤退するのが無難である。

●①雪あかり岩 (Snow lights Rock)

トポ左：下流側 右：上流側

高さ2mから3m程の岩で、この

エリアの右岸では一番大きなボルダーである。ハング部分は殆どなく、垂直のフェイスに課題が何本が設定されているが、現在さほど難しい課題は設定されていない。



易しい課題だが、下流側の赤

(課題名：スノーライツ I)・黄色(課題名：スノーライツII)、青ライン(課題名：スノーライツIII)、上流側では赤(課題名：ほうら)、黄色ライン辺りが楽しめる。

黄緑のLSラインは、右手を一つ下のホールドからスタートするSD課題は未解決である。

●②無名岩

トポ左：下流側 右：上流側スラブ

2m弱の小さな岩だが、下流側の2本のSD課題は面白い。上流側は易しいスラブ。

